

# 令和元年度 公益財団法人ひばり事業報告書

平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

## 1 総括

- ア 公益財団法人として法令遵守の徹底はもちろんのこと、社会的使命と役割を自覚し、公益・収益の事業バランスを図り事業推進に取り組んだ。
- イ 高島市の施設を管理運営する指定管理者として、利用者の安全確保と快適な施設の提供を心掛け、更なるサービスの向上に努めた。
- ウ 夏の終わりから秋口にかけての台風接近により、施設によっては売上や利用者数に影響が出た。
- エ 2月中頃から新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛の影響が出始め、3月に入ると全ての施設で団体予約を中心にキャンセルが相次いだ。

### (1) 高島市今津総合運動公園

- ア 台風の若干の影響や3月の新型コロナの影響はあったが、比較的天気回りが良かったのが功を奏して大きな減収にはならなかった。
- イ スタジアムは、春季・秋季高校野球やオセアン滋賀ブラックス興行試合の開催、OBC高島のナイター利用の増加により、利用料収入・来場者数とも昨年度を上回った。
- ウ グラウンドゴルフ場は、地元グラウンドゴルフ協会が主催する月例会の招致活動や、回数券の販売増加により売り上げが伸びた。
- エ 屋内温水プールではB&G財団のセンター評価「特A」を11年連続獲得し、(一社)日本スイミングクラブ協会の「全国優秀クラブ賞」は7年連続で受賞した。
- オ 新型コロナの影響を受け、春休みに予定されていた大会や団体利用のキャンセルが発生した。
- カ 市の予算により園内の下水道接続工事およびトイレの洋式化工事が完了した。

### (2) 家族旅行村ピラデスト今津

- ア 平池に群生しているカキツバタの開花時にはホームページやSNS(インスタグラム・

フェイスブック)で毎日開花情報を発信した。

- イ 7月1日に「絶叫ブランコと絶景遊歩道(ウッドテラス)」をオープンし、新たな魅力発信に努めるとともに、インスタグラムによるフォトコンテストを7月1日～10月31日まで開催した。
- ウ 2月に10の旅行会社(大阪5・名古屋3・京都1・滋賀1)を訪問し営業活動を行った。
- エ 夏以降は度重なる台風の接近(8月台風10号、9月台風17号、10月台風18・19号)により、キャンプ場を中心にキャンセルが発生した。

### (3) 体験交流センターゆめの

- ア ゴールデンウィークに改元を記念した新メニュー「令和そば」を期間限定で販売したところ好評だったため定番メニューに加えた。
- イ 「そば打ち体験」においては、団体客の減少に歯止めがかからず減収となったため、3月には旅行会社のウェブサイトで「そば打ち体験」の案内・申込ができるよう依頼した。
- ウ レストランひだまりにおいては、運動公園の来園者が増加したことに伴い順調に推移していたが、新型コロナの影響により3月の予約は軒並みキャンセルとなり大きく減収となった。
- エ 市の予算により厨房機器類(製氷機・食器洗浄機)が更新された。

## 2 健康づくり・スポーツ振興事業(公益目的事業1)

- ア 高齢者向けの教室では、身体機能や生活習慣の改善に取り組み、健康寿命延伸に努めた。
- イ 子ども向けには発達発育に必要な要素を取り入れながら、運動習慣の形成を目的として各事業を実施した。
- ウ 成年・壮年期の教室参加が少ないため、SNSを活用して情報発信した。
- エ 地域のスポーツ振興の拠点施設として質の高い指導技術を提供するため、スタッフのスキルアップ研修に取り組んだ。

### (1) スクール・教室開催事業

#### ① スイミングスクール

- ア (一社)日本スイミングクラブ協会泳力認定事業の今年度合格者は158名となり「全国優秀クラブ賞」を受賞した。

- イ 学校水泳では出張教室が朽木東小学校・マキノ西小学校の2校で、当施設で行う教室はマキノ中学校が実施した。
- ウ 中学校の部活動として活動している競泳コースの受講生が複数種目で近畿大会に出場し、県の強化指定選手に選ばれた。
- エ 新規職員の指導員養成研修が修了し、新規受講生の受け入れ態勢が整った。
- オ 年度末に水泳教室の体験案内を新聞折込したが、新型コロナの影響で例年のような新規申し込みが得られなかった。

### スイミングスクール

コース名	対象	実施回数	参加人数
幼児	4歳～年長児	393回	2,223名
ジュニア	年長児～中学生	612回	9,860名
競泳	小中学生	268回	2,822名
成人	18歳以上	257回	1,441名
プライベート	小学生以上	28回	28名
グループ		11回	23名
幼児アクアリズム運動	保育園児	8回	223名
学校出張水泳教室	小学生	6回	162名
学校水泳教室	中学生	2回	63名
泳力認定	25m泳げる方	8回	158名

### ② テニススクール

- ア 受講生各自が目標を設定し与えられた課題に取り組み、近畿大会（高体連）に出場し活躍した。
- イ アシスタントコーチ2名体制になり、指導体制は安定し受講生の増加につながった。

### テニススクール

コース名	対象	実施回数	参加人数
シニア	65歳以上	80回	336名
平日(初級)	18歳以上	48回	144名
土曜成人		144回	560名
ナイター			
ショート	6歳～8歳	96回	346名

## テニススクール

コース名	対象	実施回数	参加人数
ミディ	8歳～11歳	96回	880名
ジュニア	11歳～15歳	96回	925名
選手	10歳～18歳	240回	1,750名
プライベート	全ての方	20回	20名
グループ		6回	55名

### ③ 艇庫・その他事業

- ア 艇庫での団体利用はスタッフの受け入れ体制が整わなかったことや天候にも恵まれず、今期は1団体の利用であった。
- イ 海洋性スポーツに取り組むレクリエーションクラブは、職員体制が確保できなかったため止む無く休止した。
- ウ 昨年度より開催しているトライアスロン教室では受講生が順調に増え、それぞれが目標に向かって練習し地元で開催する大会に参加した。

### その他教室・事業

事業名	対象	実施回数	参加人数
トライアスロン教室	小学生	93回	515名
水に賢い子供を育むプログラム	小学生	3回	30名
長距離水泳教室	18歳以上	1回	19名

### (2) 健康づくり事業

- ア アクアビクス教室は年間を通して好評で、毎回多くの参加者が受講された。
- イ 水中歩行教室に加え、様々な水中運動を取り入れる教室を新規に開講し好評を得た。
- ウ 軽運動やストレッチを行う高齢者向けの教室では、参加者が限定的であり課題が残った。
- エ 高島市の介護予防普及啓発事業を受託し、2期（1期12回）開講した。
- オ 市の介護予防啓発事業を終了された方を対象とした教室は、少しずつ受講者が増え教室に活気が出始めた。

### 健康づくり事業

事業名	対象	実施回数	参加人数
やさしいヨーガ	18歳以上	46回	278名
太極拳		32回	133名
トレーニング講習会		随時	48名
水中歩行		41回	228名
アクアビクス		74回	999名
ストレッチ		18回	58名
ノルディックウォーキング		7回	28名
健康体操		18回	68名
プールで元気運動		20回	159名
いきいきトレーニング倶楽部		60歳以上	21回
登山	18歳以上	1回	6名

### (3) 大会イベント等スポーツ交流事業

- ア 市内の小学生を対象とした体験型スポーツイベントを開催し、多くの参加者があった。
- イ テニスの日イベントでは、初心者体験会や試合形式を取り入れた練習会等を行い、参加者がそれぞれテニスに親しんだ。
- ウ グラウンドゴルフ月例会は、新型コロナの影響で3月大会は中止となったが、9大会開催した。
- エ ひばり杯ゲートボール大会は当初予定していた5大会全て開催した。
- オ 今年度より新たに「びわ湖高島CUP女子ソフトボール大会」が8月に開催され、20チームが参加された。

### 大会・イベント等スポーツ交流事業

事業名	対象	実施回数	参加人数
グラウンドゴルフ月例会	18歳以上	9回	1,137名
グラウンドゴルフチャンピオン大会		1回	73名
ゲートボール大会		5回	1,013名
テニス日イベント	小中学生	1回	59名
スポーツチャレンジフェスティバル	年長児～小学3年	1回	45名

### 3 ふるさと・自然体験交流事業（公益目的事業2）

#### （1）自然体験・観察事業

- ア 毎年恒例となっている星空観察会は遠方からの参加者も増え、多くの方が夜の星空を見上げた。
- イ 夏の定番イベント「オオクワガタを育てよう」は家族連れから人気が高く、多くのリピーターが参加された。
- ウ 新規事業の「世界の昆虫展とカブトムシの里」は、クワガタやカブトムシの手掴み体験や普段見られない海外のカブトムシ等との記念撮影会は好評で、多くの参加者で賑わった。
- エ 親子で楽しんでいただける宿泊体験型イベントは募集早々に参加定員に達した。

#### 自然体験・観察事業

事業名	対象	実施回数	参加人数
星空観察会	全ての方	3回	33名
オオクワガタを育てよう		2回	89名
世界の昆虫展とカブトの里		17回	767名
大自然とふれあう2日間		1回	25名
フィールドビンゴ		1回	30名
ビラDESTフォトコンテスト		1回	200名

#### （2）ふるさと体験等レクリエーション事業

- ア ビラDEST今津では施設周辺の自然や立地環境を活かした各種体験を実施した。
- イ 屋外調理体験（カレー作り・BBQ等）が学生を中心に人気だった。
- ウ 家族連れにも楽しんで頂ける木工体験は好評であった。
- エ 「そば打ち体験」においては、県が情報発信する「しがこども体験学校」や観光協会が発行している「ぐるたびキャンペーン」に掲載いただくとともに、職員による案内チラシの配布や市内に2回新聞折り込みチラシを入れるなどPR強化を図った。また、次年度よりオンライン予約が出来るよう環境整備を行った。
- オ 昨年度より再開した「もろこ釣り」は釣果も順調で、9月にもろこ釣り大会を開催した。

#### ふるさと体験等レクリエーション事業

事業名	対象	実施回数・期間	参加人数
そば打ち体験	全ての方	随時	1,372名
もろこ釣り体験		6月～10月	141名
もろこ釣り大会		1回	6組・16名
春山開き		1回	70名
キャンプファイア		5回	320名
魚つかみ		3回	337名
どんぐり工房(木工・勾玉)		随時	1,172名
宝探し体験		4回	144名
はんごう炊爨		23回	826名
ウォーターバトル		4回	77名
手作りアイスクリーム体験		1回	4名
絶叫ブランコ・絶景遊歩道		7月～	20,300名

#### 4 施設利用者への利便提供事業（収益事業）

##### （1）運動公園・ゆめの

- ア ゴールデンウィーク限定で販売した「令和そば」は好評だったため、6月より通常メニューに追加した。また、9/19付け新聞に掲載された。
- イ 11月26日～12月1日の1週間「新そばフェア」を開催した。
- ウ 運動公園においては、スポーツされる方々のニーズに合わせた各種レンタル用品の貸出を行った。
- エ 売店では地域特産品を中心としたお土産や地元産野菜等を販売した。

##### （2）家族旅行村ビラデスト今津

- ア 「レストラン赤坂平」では、宿泊客を中心に一般メニューから会席まで幅広く取り揃え、「BBQ館」では、びわ湖を眼下に家族連れや大学生など多くの利用者で賑わった。
- イ 「絶叫ブランコ・絶景遊歩道」のオープンに合わせて地元産富有柿を使用した「柿氷」をレストランで販売した。

ウ アウトドアに必要なレンタル用品の品ぞろえを充実させたことで、キャンプ初心者や家族、グループから「手ぶらでキャンプが楽しめる」と好評だった。

### (3) 箱館そば鳴野

ア 10月1日からの消費増税に伴い、メニュー価格の見直しを行った。

イ 2月後半までは順調であったが、3月に入り新型コロナの影響で売上が減少した。

ウ お客様へのサービスの向上と食事の品質向上に努め、地域特産品「箱館そば」の普及に取り組んだ。